

森林

状況

第六次全国森林資源詳細調査によれば、全国森林面積は1億7,491万haに上り、森林被覆率は18.21%、活立木蓄積量は136億1,800万m³、森林蓄積量は124億5,600万m³であった。中国の森林面積は世界の4.5%を占め、世界第5位、森林蓄積量は世界の3.2%を占め、世界第6位であった。中国の森林資源は大きく変化しており、森林面積、蓄積量とも絶えず増加している。構成も少しずつ改善され、品質もある程度向上した。森林面積、蓄積量とも世界の上位に位置する。しかし森林被覆率は世界第130位で、1人あたり森林占有面積は世界第134位、1人あたりの森林蓄積量は世界第122位であった。森林資源の地域分布は極めて偏っており、国土面積の32.19%を占める西北5省・自治区の森林被覆率はわずか5.86%に過ぎない。

病虫害

2004年、全国の森林病虫害発生面積は946万ha、防止面積は596万haで、発生面積は83万ha増加した。

森林火災

2004年、全国では森林火災1万3,466件が発生し、前年比28.7%の増加だった。このうち、森林火災警報は前年比23.5%増の6,894件、一般森林火災は同34.4%増の6,531件、重大森林火災は同171.4%増の38件、特大級森林火災は同57.1%減の3件だった。全国で森林火災の火災拡大面積は34万4,211haで、前年比69.4%の減少であった。森林火災により被害を受けた森林面積は14万2,238haで、前年比68.5%の減少であった。全国で森林火災鎮火救援のために投入した経費は1億3278.5万元で、前年比37.2%の減少であった。

措置と行動

【六大林業重点プロジェクトの進展】

2004年、六大林業重点プロジェクトで造林された面積(人工造林と空中播種による造林)は、480万2,900haで、全国の造林総面積の85.8%を占めた。そのうち、天然林資源保護事業、退耕還林¹(北京・天津風砂源整備事業の退耕還林は含まず)事業、北京・天津地区における砂漠化対策事業、三北(東北、華北、西北)及び長江流域等重点防護林システム建設事業、早期成長・多収穫用材林基地の建設事業による造林面積はそれぞれ64万1,400ha、321万4,200ha、47万3,300ha、45万1,700ha、2万2,300haで、六大林業重点プロジェクトに占める割合はそれぞれ、13.4%、66.9%、9.9%、9.4%、0.5%だった。年度末時点の封山(沙)育林²実面積は972万8,900haで、そのうち無林地や疎林地への新規封山育林面積は96万3,900haであった。

¹ 林を開墾してできた耕地に再び植林すること。以下訳文では統一して「退耕還林」とする 訳注

² 樹木の伐採、放牧等を一定期間禁じた、または、防砂措置を施した上で、樹林の造成を図ること 訳注

1.天然林資源保護事業

2004年分の木材産出量は1,250万5,000m³で、全国木材総産量の24.1%を占め、前年比327万400m³の増加であった。

公益林建設は64万1,400haが完成、そのうち人工造林17万7,900ha、空中播種による造林46万3,500ha、防護林の比重は95.8%に達した。2004年度実施分の封山（沙）育林面積は521万8,100ha、そのうち新規封山育林面積は56万7,900ha、うち無林地や疎林地における新規封山育林面積の比率は73.5%、森林維持管理面積は8,783万4,100haで、昨年水準のほぼ横ばい、そのうち個人請負による維持管理面積が15.5%を占めた。1998年の事業開始以来、累計造林面積は432万8,100haとなった。

2.退耕還林事業

年間造林完成面積は356万4,800ha（北京・天津風砂源整備事業のうちの35万600haも含む）で、そのうち退耕地造林が101万6,500ha、荒れ山や荒れ地を造林したものが254万8,300haとなっている。退耕地造林面積のうち、生態林の造成が80.8%を占め、25度以上の傾斜地の退耕面積が40.1%を占めた。年間植草面積は12万3,300haであった。

2004年、支給された食糧は1,590万5,000t、支出された生活費は71億2,500万元だった。退耕還林事業に投下された資金が235億7,400万元、うち中央財政の用途限定資金が166億5,600万元（70.7%）であった。林業投資完成額総額には、支給された食糧を金銭にする場合の金額173億5,500万元、種苗費29億8,100万元、食糧調達輸送費2億7,600万元が含まれている。

1999年の事業試行開始以来、累計造林面積は既に1,689万700haに達し、食糧の支給量は累計4,804万2,200t、生活費の支出累計額は176億5,100万元であった。

3.北京・天津風砂源整備事業

2004年は事業範囲内の75県で47万3,300haの造林を完成させ、そのうち退耕地造林は19万1,700haであった。年度末時点の封山（沙）育林実面積は120万1,100haに達し、うち無林地や疎林地における新規封山（沙）育林面積は23万7,700ha、草原の整備面積は23万8,500ha、小流域整備面積は6万2,300ha、整備総面積は101万1,700haに達した。

事業実施以来5年間の累計造林は219万1,400ha、累計整備面積は439万8,500haに達した。

4.三北地域と長江流域等重点防護林システム建設事業

2004年分の造林完成面積は45万1,700ha、ここには人工造林44万1,700ha、空中播種による造林1万haが含まれ、人工造林の比率が97.8%を占めた。三北地域第4期事業の造林完成面積は23万5,700ha、長江流域防護林事業第2期事業の造林完成面積は11万3,300ha、沿海防護林第2期事業の造林完成面積は3万200ha、珠江流域防護林第2期事業の造林完成面積は3万1,800ha、太行山緑化事業第2期事業の造林完成面積は3万900ha、平原緑化事

業第2期事業の造林完成面積は9,800haであった。無林地や疎林地における新規封山（沙）育林面積は25万4,100ha、低収穫・低効率防護林の改造面積は2万9,600haであった。

5. 野生動植物保護および自然保護区建設事業

2004年、全国の林業系列が設立・管理する自然保護区が1,672カ所に達した。総面積は1億1,900万ha、国土陸地面積の12.4%を占める。そのうち国家級保護区は164カ所で、面積は7,100万haであった。

6. 重点地域における早期成長・多収穫用材林基地の建設事業

2004年、早期成長・多収穫用材林による造林規模は5万6,800haに達した。このうち荒れ山・荒地への造林は2万2,300ha、改造育成面積は4,800haだった。農家、外資、リーディングカンパニーが早期成長・多収穫用材林による造林建設の主要投資元になっており、造林総面積の67.8%を占める。造林面積及び改造育成面積を育成目的で分類すると、パルプ林、合板工業原料林、大直径クラス用材林とその他の工業原料林の占める比重はそれぞれ25.4%、31.8%、10.1%、32.7%であった。ポプラ、桐、ユーカリ、コアアカシア、コウヨウザン、松（南方）が早期成長・多収穫用材林で最もよく選ばれる樹種であった。

【天然林自然保護に関する関連政策】

2004年5月、財政部と国家税務総局が『天然林保護事業実施事業者についての税收政策に関する通知』を公表し、2004年9月には国家林業局、財政部、中国銀行監督委員会が連合して『天然林保護事業区の林業企業向け金融機関債務処理業務をより一層進めることについての関連問題の通知』を公表、2004年10月には財政部が『天然林保護事業に取り上げられた世界銀行の借款による林業プロジェクトの債務返済に対し政策支援支持を与えることについて』との書簡を公表し、天然林保護事業の実施機関の債務の一部を免除した。2004年、国家林業局は『天然林保護事業森林管理措置』を公表した。

【園林（緑化）都市の創設】

2004年までに、既に56都市（区）が国家の「園林（緑化）都市（区）」となった。

【中国人間居住環境賞】

2004年までに、深セン、大連、杭州、南寧、石河子、青島、アモイ、三亜、海口、煙台、揚州の11都市が、建設部が創設した「中国人間居住環境賞」を受賞した。また、118の都市またはプロジェクトが「中国人間居住環境モデル賞」を獲得した。